

南北韓国（朝鮮）語における異質感克服の問題について

金 東 光

はじめに

ここ何年かの間に日本のマスメディアにおいても韓国（朝鮮）語によく接することになった。「韓流」と言われる韓国文化ブームで韓国ドラマが日本のテレビで放映される傍ら、もう一方では日本のテレビは核または拉致問題について北朝鮮のテレビ報道や論評の一部をそのまま流すこともある。北朝鮮放送の報道者の口調は激しく、雄弁的しいては好戦的にも聞こえる。その代わりに韓国のテレビ放送で使われる韓国語は静かでソフトである。日本の中年女性層に爆発的な人気を得た“冬のソナタ”や着実に視聴者ベースを広げている“チャングムの誓い”といった韓国ドラマを見た人ならば同じ韓国（朝鮮）語がこんなにも異なる雰囲気をかもし出すのかと驚くかもしれない。実際、筆者はあるレストランで北朝鮮籍のオーナーがこの驚きについてつぶやいているのを耳にしたことがある。

最近南北朝鮮の人々に彼らのことばに存在する差異または異質感を考えさせる二つの大きな事件があった。一つは、まだ小規模ながら定期的に行われるようになった南北離散家族の再会で、もう一つは『キョレマル・クン辞典』（民族語大辞典）の編纂をめぐる南北双方の合意である。祖国が南北に分断され半世紀を越える時間が経った今日、離れ離れになった家族・親戚同士との再会の際、分断がもたらした悲劇は政治・社会の体制の壁だけではない。お互いに意思と感情を伝えることばにも存在することが分かったとき、分断の悲劇をより一層痛感するのである。ことばの壁は南北に分かれて60年ぶりに再

会を果たした親子の場合にも確認された。同一の言葉を共有すると信じてきた民族語の差異の深刻さを感じてのことなのか、南北双方は「6.15共同宣言」¹⁾の機会に民族語の差異を縮め、異質感を克服するために、『キョレマル・クン辞典』の共同編纂に合意し発表するに至った。これはハングル創製以来韓国（朝鮮）語に起こった最も大きな事件である。

本稿において筆者は南北韓国（朝鮮）語の差異やその政治的な含意、差異を生み出した原因、差異を縮めて異質感を克服できる可能性の診断、『キョレマル・クン辞典』の意義について論じたいと思う。

1. 南北韓国（朝鮮）語の差異を問う理由

祖国が分断されて以来南北韓国（朝鮮）語の差異はおおむね国語学者たちによって問題にされるだけに留まっていた。このように社会的関心の外に置かれていた南北韓国（朝鮮）語の差異の問題がなぜ、少なくとも韓国においては、最近離散家族をもつ人々をはじめ、政府関係者、学者一般、初・中・高等学生にいたるまで広範囲にわたる人々の熱い注目を引くようになったのか。それには大小の様々な理由がある。まず、もっとも重要な理由は、世界冷戦体制の構図の下では考えられなかった南北朝鮮の統一の見通しである。世界のいたるところで冷戦体制が崩壊して20年もの年月が経った今日、その対決構造の異常且つ余計な名残である南北分断を維持する理由はもはや存在しない。前途にどのような障碍があらうと、南北の統一、少なくとも平和共存は時の流れに合うものであ

る。問題は、長きにわたる分断がもたらしたお互いの異質感をどのように克服し民族の同質性を回復するかにある。このような時代認識の下でお互いの意思疎通の障碍を引き起こすことばの差異に視線を傾けるのは当然なことかも知れない。

南北のことばの差異について学生たちは純粋に学問的な好奇心ももっているようだ。分断以来、自意であれ他意であれ、北は旧ソ連・中国を筆頭にする共産陣営に与し、南は米国・日本に代表される自由陣営に属してきた。同じ祖先から受け継いだ民族語がどのような異なる変化の道を辿ってきたのかについて、学生たちが関心をもつのは自然なことである。ただ、この運びの背景には（少なくとも韓国における）民主主義の成熟がある。

南北韓国（朝鮮）語の差異を問う理由にこのような肯定的な転換があるだけではない。その裏を返せば否定的な理由も見えてくる。現在、南北韓国（朝鮮）語の間では——後で詳しく検討するが——憂慮すべき違いが存在する。このまま放置しておけば、南北韓国（朝鮮）語はそれぞれ異なる言語になってしまうその際どころまで達している。ことばの分化がどのように進行するかについての言語学的な趣味をもつ人々には面白いかもしれないが、南北韓国（朝鮮）語の相違がもつ政治的な含みは極めて憂鬱なものである。最近の離散家族の再会でも見たとおりに、同じ韓国（朝鮮）語で同じ感情を共有するのがやや難しくなっている。60年を隔てて再会したという状況を考慮しても、血でつながった親子が意思疎通に不便を感じ、その結果として誤解を招くことは憂慮すべきことである。起り得るもっとも深刻な状況は、(韓国側から見れば)北朝鮮の“特殊な”政治体制と絶望的な経済状態も加わって、南北の間の異質感は北に対する無関心を引き起こし統一放棄につながる危険すらあることである。

しかし、このような大きな次元の理由はさておき、南北の離散家族の再会、南北の学生たち・社会人の相互文化の理解を許す時代がやっ

と来たのである。

2. 南北韓国（朝鮮）語の差異の詳細

韓国校閲記者協会が2000年6月南北サミットの準備の際核心的な役割を果たした文化省元長官朴智元氏をはじめ、当時の統一省長官やサミットに随行した人々を対象に南北朝鮮間の言語異質化についてのインタビューとアンケート調査の結果を紹介した。この調査結果によれば朴元文化省長官は“サミットを実現するための過程のなか南北の異質化を切実に感じた。北側の代表が「特別な事変」と言った時には会談そのものが決裂されるかと思った”と述べた⁽²⁾。韓国では「事変」が非常事態の出来事あるいは災いを指すなど否定的なニュアンスをもっている一方で、北朝鮮では同じことばが歴史的にもしくは社会的に重大なことの意として理解されている。また朴長官は“金正日国防委員長が南側の出版物を多く読むが、外来語など見知らぬ単語が多くて意味がよく分からない”と言ったと伝えた。

東亜日報は「言語異質化ますます深刻…国立国語研の語彙調査」と題した記事で韓国の国立国語研究所が70年代から90年代まで北朝鮮で発行された文学作品24冊を対象に分析した北朝鮮語彙の調査について報道した。調査に収録された、違う意味で使われるかあるいは韓国にはない語彙2,500語についてこれらの語彙は北朝鮮で使用される日常語であることにその意義があると論評した⁽³⁾。南北の言語異質化を端的に見せてくれる多くの例をこの調査は含んでいる。

現在南北韓国（朝鮮）語の間にはどのような違いがあるのか見てみよう。南北朝鮮にはそれぞれ「標準語」と「文化語」と呼ばれる規範言語が存在する。もちろん韓国内にも互いに相当異なる方言があり、北朝鮮内にも状況は同じである。それ故に両側はそれぞれの規範言語を定めている。南北韓国（朝鮮）語の差異は、よって、「標準語」と「文化語」との相違である。

韓国の「標準語」は原則的に“教養のある人々があまねく使う現代ソウル語”である⁽⁴⁾。

“教養のある”，“現代”，“ソウル語”と言った表現は曖昧さがあってその厳密な定義は難しいが、「標準語」とはだいたいテレビやラジオの放送語にあたる。「文化語」はピョンヤンを中心とする平安道方言の語彙に若干咸境道方言の語彙を付け加えて整えた北朝鮮の標準語である⁵⁾。

北朝鮮当局は早くから言語を思想教養の道具として“革命建設の重要な武器”として規定し住民の言語生活を統制してきた。北朝鮮は1966年5月金日成主席の教示により昔から朝鮮の標準語であったソウル語の代わりにピョンヤン語を中心とした「文化語」を作り使用を命じた。ソウル語にブルジョワまたは復古主義的な要素があり“封建的，儒教的，反動的的思想と生活様式に陥り易い”というのが「文化語」の制定の理由である。

では、「標準語」と「文化語」には具体的にどのような違いがあるだろうか。相違は大きく分けて音韻（発音），文法，語彙の三つの分野で見いだされる。

(1) 音韻（発音）

先にも述べたとおり「標準語」はソウル語，「文化語」はピョンヤン語を中心としたことばである。それぞれ地域の発音を基準としているため発音に若干違いが見える。まず，南北韓国（朝鮮）語の発音と表記をめぐるもっとも顕著な違いは頭音法則を適用するかしないかの問題である。これは南北韓国（朝鮮）語の文法の面での違いにかかわる問題でもある。「標準語」は頭音法則を適用し，「文化語」は適用しない。従って両者の間で発音上次のような対照をなす。例：노동－로동（労働），이조－리조（李朝），요소－뇨소（尿素）。これらペアのいずれも前者は「標準語」，後者は「文化語」である。しかし北朝鮮でもこれらことばを今の通りに書いて「標準語」と同じく読んだ時期もあったという。これは南北韓国（朝鮮）語の発音上の相違が人為的な決定によるものであることを意味する。

また「文化語」のㅏ母音は「標準語」におい

てより円唇化している。つまり「文化語」におけるㅏ母音とㅑ母音の間隔が「標準語」においてよりも小さい。それゆえ「文化語」の‘어머니’（お母さん）は「標準語」話者にはまるで‘오모니’のように聞こえる。また‘개방적’（開放的），‘경험적’（経験的）のような単語の‘적’（的）が「標準語」ではそのまま発音されるが，「文化語」では‘적’に硬音化されて発音される。「標準語」の‘원수’（怨讐，仇），‘속도’（速度），‘핵심’（核心）が‘원쑤’，‘속뚜’，‘핵쑤’のように発音されるのは「文化語」の発音における硬音化傾向のさらなる例である。これらの違いのいずれも南北韓国（朝鮮）語話者間のコミュニケーションに支障を来たすほどではない。東京語と大阪語を基準と定めた標準語を想像してみれば分かりやすい。

(2) 文法

北朝鮮の文献を読む韓国人にとってもっとも目立つ文法上の違いは動詞の中止法または過去時制に使われる活用語尾である。同じことを「標準語」は－었다で「文化語」は－엇다で表す。例えば，‘붉게 되어－붉게 되어’（赤くなり），‘하시어－하시어’（なさい，されて）。また格助詞の使用にも僅かながら違いが見られる。例えば，「標準語」の‘힘이 되다’（力になる）‘바보가 되다’（バカになる）は「文化語」では‘힘으로 되다’ ‘바보로 되다’のように表わされる。“…になる”の“に”にあたる「標準語」格助詞は‘이’ ‘가’であるが，「文化語」格助詞は‘(으)로’である。この場合，「標準語」格助詞は主格助詞と同じであるが，「文化語」格助詞は「変化の結果」を表す日本語の格助詞‘に’と同じであることは面白い。さらに，‘…する代わりに’のような語句を表す際，「標準語」は動詞の現在連体形‘－ㄴ대신에’を，「文化語」は動詞の未来連体形‘－ㄹ대신에’を使う。

(3) 語彙

北朝鮮訪問団の一員として韓国を訪れた著名

な朝鮮語学者柳烈氏は韓国で使用される朝鮮語には外来語が多すぎると嘆いた。“南側の子供たちが外国語をあまりにたくさん使い我が民族の自主性を無くしているようで残念だ”と⁽⁶⁾。韓国に定着した脱北者たちも言語生活についてもっとも困難を感じるのが外来語であるという。また中国で翻訳業を営むある同胞(朝鮮族)が、韓国における外国語・外来語の乱用が民族同士の意思疎通を阻むと不満を述べる手紙を有力新聞社宛に送って紹介され、多くの韓国人からの肯定的反響を呼び起こしたこともある。

かつて金日成主席は、実際南朝鮮で使われていることばから漢字語、日本語、英語を差し引けば我が民族語は‘을’, ‘를’(いずれも‘を’)のような助詞しか残らないと言いながら、韓国語を‘잡당말’(ごった混ぜのことば)であると批判したことがある⁽⁷⁾。これは恐らく大げさな批判であろう。しかし、韓国の国語学者たちも南北朝鮮の言語の分裂を防ぐためには韓国における無分別な外国語・外来語の使用を止めるべきだと指摘している。

南北韓国(朝鮮)語の違いは語彙部においてもっとも大きい。その相違はだいたい次にあげる様相を帯びている。

- ① 南は漢字語、外国語、外来語を多く使用している。北は民族固有語を原則的に使い、固有語を生かして新造語を作る。

例：1.샤워실-물맞이탄 2.커튼-주름막 3.삐삐-주머니중 4.코너킥-모서리공 5.콘돔-고무주머니 6.페널티킥-벌차기 7.노크-손기척 8.롤러-굴개 9.브래지어-가슴띠 10.제설기-눈치개 11.살충제-벌레잡이 12.훈제-내굴짬 13.냉수욕-찬물미역 14.장인-가시아버지 15.모자이크-쪽무늬그림 16.냉주스-찬단물 17.아코디언-손풍금 18.상드리에-무리등 19.스킨로션-살물결 20.파마(머리)-복음머리 21.아이스크림-얼음보송이 22.누수방지-새는물막기 23.개폐기-여닫개 24.단층-땅끓임 25.통풍-바람같이 26.고강도-높은세기 27.각선미-

다리매 28.가로수-거리나무 29.가발-덧머리 30.개간지-일군땅 31.검산-뒤셈 32.세탁소-빨래집 33.레코드-소리판 34.시럽-진단물 35.슬리퍼-깔신 36.싱크-가시대 37.집중호우-무더기비 38.트럼프-오편패 39.열도-줄섬 40.로터리-도는네거리, 等(各ペアの前が南, 後が北の単語)

(1. シャワー室 2. カーテン 3. ポケベル 4. コーナーキック 5. コンドーム 6. ペナルティキック 7. ノック 8. ローラー 9. ブラジャー 10. 除雪機 11. 殺虫剤 12. 燻製 13. 冷水浴 14. 妻の父, 義父 15. モザイク 16. 冷たいジュース 17. アコーデオンの 18. シャンデリア 19. スキンローション 20. パーマー 21. アイスクリューム 22. 漏水防止 23. 開閉機 24. 断層 25. 通風 26. 高強度 27. 脚線美 28. 街路樹 29. かつら 30. 開墾地 31. 検算 32. ランドリー 33. レコード 34. シロップ 35. スリッパ 36. シンク台 37. 集中豪雨 38. トランプ 39. 列島 40. ローターリ-

- ② 同じ固有語(または固有語として認識される漢字語)でも南北が違う単語を使う。

例：1.괜찮다-일없다 2.외고집-땅고집 3.개고기-단고기 4.채소-남새 5.어림짐작-어방치기 6.바쁘다-돌아치다 7.당장-인차 8.창피해서-열스러워서 9.가게-가가 10.가위바위보-가위주먹 11.도시락-곽밥, 等
(1.大丈夫だ 2.意地っ張り 3.犬肉 4.野菜 5.見当 6.忙しい 7.すぐ 8.恥ずかしくて 9.店 10.じゃんけん 11.弁当)

- ③ 同じ(または類似した)意味を南北が異なる漢字語で表す。

例：1.경호-호위 2.의전-의례 3.발전-비약 4.공휴일-휴식일 5.수행원-수원 6.관람예정-관람예견 7.사열-정보행진 8.가정주부-가두녀성 9.여과장치-려과설비 10.왕래수단-래왕수단 11.노선-로정 12.상호-호상 13.이해-료해 14.단체체조-집단체조 15.

대중가요-군중가요 16.귀빈석-주석단 17. 자신감-자신심 18.창의성-창발성 19.한의학-동의학 20.생활필수품-인민소비품 21. 화장실-위생실 22.응급치료-간이치료 23. 보장-담보, 等

(1. 警護-護衛 2. 儀典-儀礼 3. 發展-飛躍 4. 公休日-休息日 5. 隨行員-隨員 6. 觀覽予定-觀覽予見 7. 査閲-正歩行進 8. 家庭主婦-街頭女性 9. 濾過装置-濾過設備 10. 往來手段-來往手段 11. 路線-路程 12. 相互-互相 13. 理解-了解 14. 団体体操-集団体操 15. 大衆歌謡-群集歌謡 16. 貴賓席-主席団 17. 自信感-自信心 18. 創意性-創發性 19. 韓医学-東医学 20. 生活必需品-人民消費品 21. 化粧室-衛生室 22. 応急治療-簡易治療 23. 保障-担保)

④ 南は外国語を使用するのに対して北は漢字訳語を使う。

例：1. 비디오-녹화기 2. 필터담배-려과담배 3. 드라이클리닝-화학세탁 4. 볼펜-원주필 5. 서커스-교예 6. 스투위디스-녀자안내원 7. 스타-인민배우 8. 시디플레이어-레이자전축 9. 에스컬레이터-계단식승강기 10. 전기믹서-전기분쇄기 11. 코치-지도원 12. 콘택트렌즈-접촉안경 13. 펜싱-격검 14. 헬리콥터-직승기 15. 소프라노-녀성고음, 等

(1. ビデオ-録画機 2. フィルター煙草-濾過煙草 3. 드라이・クリーニング-化学洗濯 4. ボールペン-円周筆 5. サーカス-巧芸 6. スチュワーデス-女子案内員 7. スター-人民俳優 8. CDプレイヤー-レーザー電蓄 9. エスカレーター-階段式昇降機 10. 電気ミキサー-電気粉砕機 11. コーチ-指導員 12. 콘택트렌즈-接觸眼鏡 13. 펜싱-擊劍 14. 헬리콥터-直昇機 15. ソ프라노-女性高音)

⑤ 北は理念語を量産した。

例：1. 군중 로선 2. 로동 교양소 3. 만가동 4. 밥공장 5. 속도전 6. 후비대, 等

(1. 群衆路線 2. 勞働教養所 3. 滿稼動 4. 파브[ご飯]工場 5. 速度戰 6. 後備隊)

一般的様相とは逆に南が固有語を, 北が漢字語または外国語, 外来語を使う場合も見当たる。

例：1. 돕다-방조(幫助)하다 2. 거스름돈-각전(角錢), 等

(1. 手伝う 2. お釣り)

また南は英語系統, 北はロシア語系統の外国・外来語を使用する傾向がある。

例：1. 커문(집단농장)-꾸무나 2. 그룹-그룹싸 3. 트랙터-뜨락또르 4. 모터사이클-모터찌끌 5. 캠페인-감빠니아 6. 탱크-땅크, 等

(1. コミューン 2. グループ 3. 트랙터 4. 모터·サイクル 5. 캠페인 6. 탱크) さらに漢字語でも南は日本式, 北は中国式の漢字語を使う場合もある。

例：1. 무상-면비 2. 서명-수표, 等

(1. 無償-免費 2. 署名-手票)

そして韓国情報文化振興院によれば, 南北の共有する情報通信用語は42%しかなく, 完全に異なる用語も18%に達する。

例：1. 부팅-기동 2. 이동막대-홀림띠 3. 디렉토리-등록부 4. 단축키-지름길 5. 드래그-끌기 6. 네티즌-망시민 7. 데이터베이스-자료기지 8. 인터넷검색-망유람 9. 다운로드-내림적재 10. 노트북컴퓨터-학습장형컴퓨터 11. 백업-여벌 12. 서버-봉사기 13. 온라인게임-직결유희 14. 해커-컴퓨터지능범죄자 15. 홈뱅킹-가정은행봉사 16. 휴지통-회수통, 等

(1. 起動 2. スクロール・バー 3. ディレクトリ 4. 短縮キー 5. ドラッグ 6. 네티즌 7. 데이터베이스 8. 인터넷検索 9. 다운로드 10. 노트・パソコン 11. 백업 12. 서버 13. 온라인・ゲーム 14. ハッカー 15. ホーム・バンキング 16. ごみ箱)

異なる言語政策や言語観を追求した結果, 韓

国を訪れた北のもう一人の代表的な朝鮮語学者金ヨンファン教授（金日成総合大学）の実感では南北間の綴りと語彙の差異は20%にも及ぶという⁽⁸⁾。この違いは日常生活語、学術・専門語、隠語、ことわざ、政治・経済用語にいたるまで広く見られる。厳密な語彙の差異の調査はこれからの課題であろう。

3. 南北韓国（朝鮮）語の差異を生み出した原因

南北韓国（朝鮮）語の間に上で挙げたような差異が生じた根本的な理由は相争う体制とそれに伴うイデオロギーの相違である。故に南北の言語異質化は一方ではなく双方に責任があるというべきである。分断以後、南北双方の人的な交流があまりになかったのである。

ドイツ語の例を取り上げてみれば南北韓国（朝鮮）語の違いの異常さが理解しやすい。周知のとおり、ドイツ語を国語または共用語とする国にドイツ、オーストリア、スイス、リヒテンシュタイン、ルクセンブルクがある。オーストリアとスイスはドイツ語の分布上南部方言に属するという点以外に、ドイツと違う国であるという政治的な意識からわざわざドイツとは異なる語彙を使用してきた。しかし政治的な意図が生み出した語彙の違いにもかかわらず、ドイツ、オーストリア、スイスのドイツ語話者が意思疎通や感情の伝達の面で不便を感じないどころか、お互いに同一文化を共有しているという認識をもっている。南北朝鮮のように政治・経済の体制の異なる東西ドイツが存続した40年の間にも東西間のドイツ語の溝は朝鮮語より深くはなかった。統一を成し遂げ15年になる今年ドイツの西部と東部には経済的な格差は毅然とあるものの、ことばの地域的な相違は別としてそれに伴う感情の溝は見当たらない。これは旧東西ドイツが分断の間でも人的な交流やテレビのようなメディアを通じてお互いの実情をよく知っていたことによるものであろう。

分断とその後交流の欠乏を南北朝鮮における言語の差が生じた背景ととらえたうえで、どのような原因がもっとも大きく差異に影響して

いるかを探ってみよう。朝鮮語の差異の溝をもたらした責任は南北両側ともにある。韓国は発作的、痙攣的な不調があるにもかかわらず民主と自由を標榜する政治経済体制を追求してきた。その価値観は言語政策にも反映されことばの変化を放任し、使用の定着してきた単語や表現を記述しそれをまとめてきた。記述は恒常的な使用によって規範性を帯びるようになってくる⁽⁹⁾。これは自由放任型とでも言えよう。この言語政策の産物として多くの外国語が韓国語に入るようになった。韓国では、日本と同様、多くの漢字語が使われていることは上で述べた通りである。この頃教科書や新聞、雑誌に漢字が殆んど姿を消したことは事実であるが、造語の根源としての漢字の影響力はなお健在である。最近英語の語彙は、科学技術の分野はもちろん日常生活の場にも浸透している。その様子は氾濫としか言いようがない。日本語の場合、植民地時代に大量にもたらされた語彙以外に、日本の先進的な科学、技術、経済の発展に伴い生じた比較的新しい語彙も数多く韓国語に入り影響力を振るっている。そのなかで韓国側にもっともやっかいな存在は和製英語である。また漢字語、英語、日本語以外にもさらに諸ヨーロッパの科学、技術、文化分野の語彙が相当韓国語に浸透した。

南北韓国（朝鮮）語の差異をもたらした要因は様々であるが、もっとも大きな要因は北朝鮮で体系的に行われた語彙整理作業である。強力な民族主義志向と民衆主義志向を標榜した北朝鮮は政権樹立直後より朝鮮語のなかの外来的な要素を見つけ出しやさしい固有語で代替しようと努力した。北朝鮮は1966年金日成主席の教示により言語純化を図る過程のなか5万余にいたる語彙を固有語で替えた⁽¹⁰⁾。

4. 南北韓国（朝鮮）語にわだかまる異質感の克服の可能性

上で見てきた通り南北韓国（朝鮮）語に異質感を感じさせる原因は主に語彙部の差異にある。それは人為的に変えてしまった結果である

ので、たとえ完全な元の状態の回復ではないにしても人為的に戻せる可能性は高い。異質感克服のために二つの重要なカギがある。一つは共通の綴りと語彙、文法の整備である。もう一つは互いの交流である。

脱北者等の証言によれば、北の人々の実際の会話は、昔のままのことば（つまり南北共通のことば）をよく使うか、理解しているということである。このような文脈から、南北が共有する（またはし得る）語彙を整えて規範性を与えれば、つまり辞書に載せて学校で正しい語彙として教えれば、いずれ語彙の同質性を回復することができると言えよう。

南北におけることばの同質性回復のための動きはすでに始まっている。その最初として、ポーランドのワルシャワ大学に派遣された南北の言語学者たちが現地大学生から「韓国語」と「朝鮮語」があまりに異なり紛らわしいとの意見を受け入れ『南北韓言語比較研究』を発行するようになった。韓国のソウル大学の李ヒョンボク教授と北朝鮮の恵山師範大学の魯ギルヨン教授が1990年に会ってから7年ぶりに実りを見たのである。これは初めての南北学者の共同著述で、語彙はもちろん綴り、発音、表現にいたるまで南北間のことばの差異を記述したもので、異質化の溝を多少なりとも埋めてくれるものと期待されている¹¹⁾。

また韓国の国立国語研究院は「21世紀世宗計画」と名づけられた計画を打ち立てた。この計画の核心は南北それぞれ別々に推進している韓国（朝鮮）語の情報化を調和・統一することで、このために国立国語研究院は南北の代表的な辞書を比較・検討し、そのなかで意味上大きい差がある語彙1万語を選定し収録する『南北韓言語比較辞典』を作っている¹²⁾。何より南北韓国（朝鮮）語の同質性回復のための画期的な出来事は「6・15共同宣言」で発表された『キョレマル・クン辞典』の共同編纂計画である。これは1989年韓国の文益煥牧師が平壤を訪れ金日成主席に会って提議し合意した『統一国語大辞典』の共同編纂がそのベースになった。『キョレ

マル・クン辞典』の意義については後でより詳しく論ずることにする。

他にも南北韓国（朝鮮）語の異質感の克服可能性を語ってくれる例がある。日本で韓国の留学生と（北朝鮮式の朝鮮語教育を受けた）中国の朝鮮族留学生は交流さえすれば異質感の克服ができることをみせてくれた。この面において鼓舞的なことは、日本における北朝鮮系の新聞（「朝鮮新報」）、さらに中国の朝鮮語新聞（「黒竜江新聞」、「吉林新聞」）のインターネット版の登場である。もちろん北朝鮮労働党機関紙「労働新聞」はインターネットで見ることができているが、過度なイデオロギー性のために興味を感じにくいところもあるのに対し、日本または中国の朝鮮語新聞は広い範囲にわたるテーマを扱うので北の言語事情を知ろうとする南の人々に大いに役に立つ。

さらに韓国のインターネットの影響は、日本はもちろん中国の同胞にも強い影響を及ぼしている。また、韓国語ブームを引き起こした韓国の多くの映画やドラマが闇のビデオ、DVDの形で中国を通過して北朝鮮に持ち込まれていることが様々な情報筋より確認されている。このようなチャンネルを公式化すればより一層の効果をもたらすだろう。

韓国に中国朝鮮族労働者が増え、韓国側も中国朝鮮族の集中している地域への観光も増えて、お互いの言語的交流も増えている。この交流が北朝鮮の人々に影響を及ぼすのは間違いないことである。

南北関係者の交流の際通訳が使われたことはない。南北韓国（朝鮮）語がそれぞれ異なるニュアンスを持って使われているのは、異なる政治経済システム、それに伴う体制観に基づき現れた現象で、その違いは若干不便ではあるが、コミュニケーションが不可能であるほどではない。これらの違いは共同規範を作り、交流を増やす意志決定をして実行さえすれば解消できる問題であるし、逆に朝鮮語の語彙、表現力を豊かにする潜在力も大きい。南北の賢明な政治決断がカギである。

5. 『キョレマル・クン辞典』の意義

『キョレマル・クン辞典』（民族語大辞典）は南北韓国（朝鮮）語の差異を克服する規範作りの重要な第一歩である。南北が合意に達した

編纂要綱のもっとも核心的な部分は“南北の言語的差異を一気にすべて無くせない条件のもとで、段階を設定して一つひとつ解決する方法で辞典を完成するが、これを持続的に補充する”『辞典編纂原則』である。南北言語を機械的に統一することなく、まず‘合意可能な水準’で辞典を作った後、長期的にこれを補完する過程を踏むという。

また辞典編纂作業方式は『キョレマル・クン辞典』完成本の大綱が推測できるようにしてくれる。まず、既往の南北ことばを集成大成した南側の『標準語大辞典』と北側の『朝鮮語大辞典』を母体に表題語の選定を進行するというのが共同編纂委の計画である。これに韓半島全域と在外同胞居住地域の‘方言’と様々な文学作品に登場する語彙など南北の国語辞典に載せられなかった‘新語補充作業’も行われる¹³⁾。

記述が規範的な拘束力をもつ現象がある。たとえ『キョレマル・クン辞典』が記述的であっても規範的指導力をもつに違いない。ヴィットゲンシュタインのことばを借りなくても、言語はわれわれの生活のまたは存在様式の表れである。南北のことばの異質感を克服しようとする、古今東西未曾有のこの貴重な試みは、南北の他の方面における協力や和解につながるかも知れない。そうであれば、朝鮮半島の緊張緩和だけではなく、東アジア、しいては世界の平和にも貢献することになるであろう。

この共同規範作りをめぐる決定がさらなる交流の拡大を促す効果を生むだろう。異質感の克服とは関連両側の協力なくしては不可能である。ことばの異質性を克服するために南北の言

語学者たちの提案・合意した辞典編纂方針は両側の統一、少なくとも統一に向けての歩み寄りと協力の方法のモデルを提供してくれるかもしれない。

結びに代えて

北の南側訪問者また在中同胞（朝鮮族）は韓国における外国語・外来語の乱用について批判し、あるいは不平をこぼす。彼らは民族語を守ったという自負を持ち、しいては優越感さえもっているようだ。南でも彼らの業績に敬意を表す。しかし、民族の繁栄という観点から見ればものごとはそのように単純に判断するわけにはいかない。韓国も自分なりの国語（民族語）純化に努力を傾けてきたし、それなりの成果も挙げてきた。韓国は科学・技術の面でもっと先進国である英国、米国、日本と積極的に交流し、学び、対決もしてきた。その結果として経済、科学、技術、文化などの面において飛躍的な発展を成し遂げた。一々単語、概念を韓国語に直すより、翻訳しようもない単語、概念をそのまま摂取し、科学、技術、経済を発展させるという言語態度における実用主義を取ってきた。そのような蓄積があるからこそ『韓流』のような民族文化に基づいた文化を花咲かせ、統一そのものについても考える余裕や力量をもつようになったのである。

もちろん北や中国の同胞の批判も的を射ている。最近の韓国の言語事情を見ると、美しい固有語があるのに wife, sports, contents のような外国語を無分別に使用する傾向が見られ、韓国のなかでも眉をひそめられることがしばしばある。外国語が加えられ韓国（朝鮮）語の語彙が豊富になるのはいいが、固有語を押し出し消滅させては困る。しかし北にも外国語の使用が増えてきたようである。2004年刊行された北朝鮮最新の『조선말사전』（朝鮮語辞典，社会科学院言語学研究所刊）は“情報産業時代に合う新しい用語が数多く生まれる現実を反映して執筆された”¹⁴⁾。ここで“情報産業時代に合う新しい用語”とはIT関連の英語であろう¹⁵⁾。

北に対する批判として、固有語の尊重はいいが、民族の長い歴史にわたって培われてきた漢字による遺産は放棄していいのかという点がある。祖先が築いてくれた漢字遺産を固有文化のなかで継承し発展していくことも大切である。また中国や日本のような隣国と付き合ううえで漢字的素養はよい財産になる。

英語の中のギリシア語・ラテン語は英語を表現力の豊かな科学・文化・外交語にした。固有語だけに拘らず、それを守りながら世界的文明を吸収し発展する道もあるということのよい例であろう。

最近ドイツ語も Denglish もしくは Anglizismus と呼ばれる過剰な英語使用現象に見舞われている。外国語による影響は韓国語に限らず世界的文化・文明をめざす国々にはよくあるものだ。思慮深いドイツ人の Denglish に対する反応は、固有語は守り、必要な外国語や外国生まれの概念は受け入れようとする。いずれそのことば、概念も自分のものに吸収されるものだから。バランス感覚が重要であろう。

南北の最近の『キョレマル・クン辞典』をめぐる交流は民族のことば、文化、共存を考えさせてくれる良いきっかけになった。民族、進んで世界の平和・共存につながるこの絶好のきっかけを必ず実らせるべきである。

〈参考資料〉

우리말큰사전 (韓国語大辞典), ハングル学会編, 語文閣, ソウル, 1997年
 엡센스국어사전 (エッセンス国語辞典), 李熙昇監修, 民衆書林編集部編, 第5版, 民衆書林, ソウル, 2002年
 韓国文教(教育)部告示第88-1号
 동아새국어사전 (東亜新国語辞典), 李基文監修, 辞典辞書編集部編, 第4版, 斗山東亜出版社, ソウル, 2002年
 朝鮮語大辞典, 大阪外国語大学朝鮮語研究室編, 角川書店, 東京, 1986年
 朝鮮新報, 東京
 조선말사전 (朝鮮語辞典), 科学院出版社, 平壤, 1962年
 조선어맞춤법편람 (朝鮮語綴字法便覧), 科学百科

事典綜合出版社, 平壤, 1994年
 조선말사전 (朝鮮語辞典), 科学百科事典出版社, 平壤, 2004年
 東亜日報, ソウル
 한키ョ레新聞, ソウル
 현대조선말사전 (現代朝鮮語辞典), 朝鮮社会科学院言語科学研究所編, 中国 黑竜江朝鮮民族出版社・(北)朝鮮 科学百科事典出版社, 2003年

注

- (1) 「6・15共同宣言」とは2000年6月15日金大中大統領が訪北して金正日国防委員長に会って南北の和解と共存について合意した内容を宣言した歴史的な大事件である。
- (2) 한키ョ레新聞, 「남북정상회담 수행원이 본 언어 이질화」(南北サミット随行員の見た言語異質化, 2000/8/10)
- (3) 東亜日報, 언어 이질화 갈수록 심각...국립국어연구원 조사 (言語異質化ますます深刻...国立国語研の語彙調査, 1992/2/1)
- (4) 韓国文教(教育)部告示第88-1号
- (5) 「社会主義建設期に主権を握った労働階級の党の領導のもとに革命の首都を中心として形成される, 労働階級の階級的志向と生活感情に合うように革命的に洗練され, 文化的に言い替えられ, 全人民が規範とする, 豊かに発展した民族語である。朝鮮民主主義共和国の文化語は, 党と人民の偉大な首領キム・イルソン(金日成)同志の主體的な言語思想とそれを具現した我が党の正しい言語政策により, 解放後, 共和国北半部の新しい社会主義制度のもとで, 革命の赤い首都ピョンヤンを中心にしてピョンヤン語を基準に形成された美しい言語の一つである」[金日成の教示, 「조선어의 민족적 특성을 옹기 살려 나갈 데 대하여」(朝鮮語の民族的特性を正しく活かしていくことについて) 1966年5月14日]。引用は大阪外国語大学 朝鮮語研究室 編『朝鮮語大辞典』の補巻の標題語 '문화어' (文化語) から。
- (6) 東亜日報,コラム '橫説豎説', 「南北 언어연구」(南北言語研究, 2000/8/17)
- (7) 한키ョ레新聞,コラム '국어의 풍경' (国語の風景), 「우상의 언어」(偶像の言語)
- (8) 한키ョ레新聞, 「남북언어교류 서둘러야」(急ぐべき南北言語交流, 2000/8/16)
- (9) 記述と言語の体系性とのかかわりは分析哲学

の大きなテーマの一つである。ここではそれについて詳細に考察することはできないが、韓国語における言語の自由放任的発達について研究していくことは、このテーマにおける実証的事例を提供することとなるだろう。

- (10) 東亜日報, コラム '横説堅説', 「南北 언어연구」(南北言語研究, 2000/8/17)
- (11) 東亜日報, コラム '横説堅説', 「南北 언어연구」(南北言語研究, 2000/8/17)
- (12) 東亜日報, 「新남북시대: 문화-언어 이질감 해소」(新南北時代: 文化-言語の異質感の解消, 2000/6/23)
- (13) ハンキョレ新聞, 「기틀 마련한 겨레말큰사전」(基礎の整った『民族語大辞典』, 2005/8/16)
- (14) 朝鮮新報, 「조선 사회과학원에서 새 언어학 사전, 도서들 출판」(朝鮮社会科学院が新しい言語学辞典, 図書を出版, 2005/11/19)
- (15) 多くの英語単語の以外に韓国で“コンピュータ知識に欠けた人”という意味をもつ俗語“컴맹”(コン盲)が“콤맹”(コン盲)と“콤맹자”(コン盲者)の形で収録されているのは驚くべきことである。(조선말사전 1204頁)